

令和3年2月5日（金）通算第1324回 2月第1例会
会場：マリエール太田

会長挨拶



本日は二月第一例会にご出席いただきましてありがとうございました。立春も過ぎ季節は次第に春に向かって暖かさを増していくと思われませんが、まだまだ厳しい寒さの日もありますので健康にはご留意いただくようお願いいたします。また、一月に発せられた緊急事態宣言の効果もありコロナウィルス感染者も減少傾向へととなりました。しかしまだまだ予断は許されず、栃木県を除く地域においては一か月延長されました。会員の皆様には、日々の感染者数に一喜一憂することなく引き続き感染予防には万全の対策をとっていただくようお願いいたします。

今月は平和構築と紛争予防月間であります。2014年10月RI理事会は2月を平和構築や紛争解決に関連した仕事に従事することを旨とする専門職業人のための奨学金支援を強調する月間と位置付けました。世界では武力紛争によって数多くの子供たちが学校へ通う機会を奪われており、深刻な人権問題となっております。国際社会は紛争などの影響を受けた子供たちに対し、教育の機会を確保することを守らなければならないと考えます。最近、ミャンマーにおいても軍によるクーデターが起こり、これからのミャンマーがどの方向に向かうのか非常に心配されます。私たちロータリアンは、平和構築や紛争解決の問題に積極的に関心を持ち、貢献する必要があると思われま。悲劇的な戦争を経験しそして敗戦、世界唯一の被爆国、その後享受した平和、これらを経験した日本のロータリアンだからこそ平和や紛争に関してより関心を持ち積極的に行動していくことが必要ではないでしょうか。

本日の卓話は前回に引き続き奉仕プロジェクト委員会松本理事から職業奉仕について具体的でわかりやすく説明していただけたと思います。全4回の予定でしたが今回で最後となるということなので是非お聞きいただけたらと思います。

最後になりますが、本日の理事会にて今後の例会について話し合いたいと思います。コロナ禍の折、通常通りの例会開催が難しい場面もあると思いますが、会員の皆様にはご理解の程をお願い申し上げて本日の会長挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。

◇例会場 ダニエルハウス 太田市飯田町895 TEL 0276-47-1222

◇例会日 金曜日 12:30～

◇事務局 〒373-0853 太田市浜町3-6 太田商工会議所会館4階12号室

TEL 0276-48-8231 FAX 0276-48-8232

Eメール ota-chuo@rid2840.jp

会 長 吉岡 努

幹 事 岡田 秀一

クラブ広報委員会

委 員 長 茂木 一博

副委員長 平井 優一

本日の行事

【誕生祝・創立発表】

〈発表者〉 会員組織・強化委員会
委員長 鈴木 卓弘

【誕生祝】 板橋 聖 (22日)

【創立発表】

萩原 幸宏

【乾杯】

萩原 幸宏



幹事報告

幹事 岡田 秀一



- ・ 2月のロータリーレート \$1=104円
- ・ 分区内外の例会変更
- ・ ガバナー月信 2月号回覧
- ・ 次週 2月12日の例会は休会

委員会・部会・地区委員 報告

【ロータリー財団委員会】

◇ R財団・ポリオ・米山 寄付者報告
副委員長 前原 信之



【クラブ広報委員会】

◇ 「ロータリーの友」2月号紹介
担当理事 小板橋 勉



ニコニコ基金・出席報告

【クラブ管理運営委員会】

委員長 若狭 大介

(オンライン出席)



卓話

「職業奉仕について（第3回）」

奉仕プロジェクト委員会担当理事 松本 徹



職業奉仕についての卓話（全3回の最終回）です。

2016年規定審議会において標準クラブ定款の一部が改正されました。定款6条2は「職業奉仕は、事業および専門職の道徳的水準を高め、あらゆる職業に携わる中で奉仕の理念を実践していくという目的を持つものである。会員役割には、ロータリーの理念に従って自分自身を律し事業を行うこと、そして自己の職業上の手腕を社会の問題やニーズに役立てるため、クラブが開発したプロジェクトに応えることが含まれる。」（一部抜粋）とされた。

つまり、会員の職業上の技術・経験・ノウハウ・スキル等を活用し、世の中の問題やニーズに応じて役立てる、それ

をクラブのプロジェクトとして実施するということである。

この改定によって「外向きの職業奉仕」の要件が明確になり「職業奉仕」が理解しやすくなった。

五大奉仕についても、「職業奉仕」が縦の糸、他の四つの奉仕が横の糸となり、織りなす布で社会に貢献し奉仕をするということが良いのではないかと。他の四つの奉仕との相関関係・相乗効果によって奉仕の理想を実現することこそが「職業奉仕」の真の姿と考えれば良いのではないかと。

「職業奉仕」を以下のように分けて理解すれば良い。

「内向きの職業奉仕」＝ロータリアン一人一人が奉仕活動の中で「奉仕の理念」「四つのテスト」を学び、職場に持ち帰ってこれらに照らして自身を律し、仕事を遂行する。自分の職場で、職業を通じて奉仕の理念を实践し、社会に貢献する。

「外向きの職業奉仕」＝会員の職業上の手腕を、社会の問題やニーズに役立てるためのクラブ奉仕プロジェクトに活用する。

資格者・技術者でなくても、クラブ奉仕プロジェクトに会員と一緒に参加することで、「職業上の手腕を活用」することができる。というお話でした。

全4回の予定が、COVID-19の再拡大の影響もあり3回に短縮されましたが、「職業奉仕」についてわかりやすく解説していただきました。松本さん、たいへんありがとうございました。